

## 仙台厚生病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

通常の診療で得られた過去の診療情報や残存検体等を使用して行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得る代わりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開する事が必要とされています。また、研究結果を学会等で発表する事がありますが、個人を特定する情報は公開されません。

|               |   |
|---------------|---|
| 研究課題名         | 複雑大動脈腸骨動脈病変へのカバードステント (VIABAHN VBX) を用いた血管内治療に関する多施設前向き研究 (The optimal strategy with VIABAHN VBX covered stent for complex aort-iliac artery disease by endovascular procedure : AVOCADO-II試験)            |
| 当院の診療科・研究責任者  | 循環器内科 堀江 和紀   |
| 他の研究機関        | 関西ろうさい病院、森之宮病院、岸和田徳洲会病院、札幌心血管クリニック、東京ベイ浦安市川医療センター、旭中央病院、筑波メディカルセンター、大和成和病院、湘南鎌倉総合病院、東京済生会中央病院、東京蒲田病院、かわぐち心肺呼吸器病院、岐阜県総合医療センター、済生会中津病院、京都第二赤十字病院、JCHO神戸中央病院、大阪赤十字病院、福山循環器病院、倉敷中央病院、松山赤十字病院、済生会福岡総合病院、福岡大学病院 |
| 本研究の目的        | 大動脈・腸骨動脈病変の治療のために2018年に本邦で初めてカバードステントであるViabahn VBXが使用可能となりました。高い有効性が期待されておりますが、日本人患者を対象としたデータはまだ無いため、本研究でその有効性を前向きに検討したいと思います。   |
| 研究期間          | 対象期間：2020年承認後～2022年12月末<br>研究期間：許可後～2025年6月末  |
| 研究の方法（対象となる方） | 上記疾患に対し、Viabahn VBXを留置した患者さんの予後を追跡調査することを予定しております。  |
| 研究の方法（利用する情報） | 患者さんの病歴や基礎疾患、術後の臨床的経過を上記医療機関で共有し、本デバイスの有効性を評価することを予定しております。   |
| 個人情報の取扱い      | 利用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除致します。<br>(利用する情報に個人を特定する情報は一切含まれておりません。)<br>研究結果を学会等で発表する可能性がございますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用致しません。   |
| 本研究の資金源（利益相反） | 本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。  |
| お問い合わせ先       | 研究への利用を拒否する場合等の連絡先<br>【電話】 022-222-6181<br>【担当者】 循環器内科 堀江 和紀  |
| 備考            |   |